

注3

大学番号：私350

届出

[平成20年度設置]

計画の区分：学科の設置

注1

大同工業大学 情報学部 情報システム学科及び情報デザイン学科  
(大同大学)

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大同学園  
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学務室

職名・氏名 室長 アマイク 天池 コウイチ 公一

電話番号 052-612-6111

(夜間) 052-612-6085

F A X 052-612-5623

e-mail ditgakum@daido-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 大同学園

## (2) 大学名

大同大学

## (3) 大学の位置

〒457-8530  
愛知県名古屋市南区滝春町10番地3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	( タナカ タカシ ) 田中卓 (平成12年7月)	( オクムラ ヒロシ ) 奥村博司 (平成19年8月)	届出後に理事長を選任 (21)
学長	( サワオカ アキラ ) 澤岡昭 (平成11年4月)		
学部長	( サワオカ アキラ ) 澤岡昭 (平成15年4月)		
情報システム 学科長		( サトウ ヒデキ ) 佐藤秀樹 (平成20年4月)	届出後に学科長人事を決定 (21)
情報デザイン 学科長		( イノウエ シゲキ ) 井上茂樹 (平成20年4月)	届出後に学科長人事を決定 (21)
		( ヤマウチ ゴロウ ) 山内五郎 (平成21年4月)	井上学科長退職に伴う就任 (21)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は、平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報学部 情報システム学科 学士(情報)	4年	120人	- 年次人	480人	
情報学部 情報デザイン学科 学士(情報)	4	140 100	-	560 400	入学定員を100人から140人に変更<平成22年4月1日> (22)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

<情報システム学科>

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120 ( - ) [ ]	-	120 ( - ) [ ]	-	120 ( - ) [ ]	-	120 ( - ) [ ]	-	1.20倍	
志願者数	456 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	616 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	922 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	844 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]		
受験者数	448 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	604 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	909 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	837 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]		
合格者数	290 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	330 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	430 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	383 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]		
B 入学者数	129 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	142 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	173 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	134 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.18		1.44		1.11			

<情報デザイン学科>

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 ( - ) [ ]	-	100 ( - ) [ ]	-	140 ( - ) [ ]	-	140 ( - ) [ ]	-	1.22倍	
志願者数	263 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	324 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	650 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	683 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]		
受験者数	260 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	324 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	649 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	679 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]		
合格者数	205 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	237 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	407 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	357 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]		
B 入学者数	101 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	131 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	187 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]	174 ( - ) [ ]	- ( - ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.01		1.31		1.33		1.24			

- (注) ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生）」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けて場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

<情報システム学科>

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 129	[ - ] -	[ - ] 142	[ - ] -	[ - ] 173	[ - ] -	[ - ] 134	[ - ] -			
2年次	/		[ - ] 125	[ - ] -	[ - ] 132	[ - ] -	[ - ] 167	[ - ] -			
3年次			/				[ - ] 119	[ - ] -	[ - ] 126	[ - ] -	
4年次	/								[ - ] 119	[ - ] -	
計			[ - ] 129	[ - ] -	[ - ] 267	[ - ] -	[ - ] 424	[ - ] -	[ - ] 546	[ - ] -	

<情報デザイン学科>

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 101	[ - ] -	[ - ] 131	[ - ] -	[ - ] 187	[ - ] -	[ - ] 174	[ - ] -			
2年次	/		[ - ] 98	[ - ] -	[ - ] 128	[ - ] -	[ - ] 181	[ - ] -			
3年次			/				[ - ] 93	[ - ] -	[ - ] 121	[ - ] -	
4年次	/								[ - ] 89	[ - ] -	
計			[ - ] 101	[ - ] -	[ - ] 229	[ - ] -	[ - ] 408	[ - ] -	[ - ] 565	[ - ] -	

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けて場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<情報システム学科>

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ - ] 4	(累積)計 [ - ] 129	[ - ] % 3.1 %
	うち平成20年度入学者 4人	うち平成20年度 129人	
(主な退学理由) ・就学意欲の低下 3人 ・学生個人の心身に関する事情 1人			
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ - ] 16	(累積)計 [ - ] 267	[ - ] % 6.0 %
	うち平成20年度入学者 6人	うち平成20年度 125人	
	うち平成21年度入学者 10人	うち平成21年度 142人	
(主な退学理由) ・就学意欲の低下 5人 ・他の教育機関への入学・転学 3人 ・就職 1人 ・学生個人の心身に関する事情 2人 ・家庭の事情 4人 ・除籍 1人			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ - ] 12	(累積)計 [ - ] 424	[ - ] % 2.8 %
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 119人	
	うち平成21年度入学者 6人	うち平成21年度 132人	
	うち平成22年度入学者 6人	うち平成22年度 173人	
(主な退学理由) ・就学意欲の低下 1人 ・他の教育機関への入学・転学 7人 ・就職 2人 ・学生個人の心身に関する事情 2人			

<情報デザイン学科>

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ - ] 3	(累積)計 [ - ] 101	[ - ] % 3.0 %
	うち平成20年度入学者 3人	うち平成20年度 101人	
(主な退学理由) ・就学意欲の低下 2人 ・就職 1人			
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ - ] 8	(累積)計 [ - ] 229	[ - ] % 3.5 %
	うち平成20年度入学者 5人	うち平成20年度 98人	
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 131人	
(主な退学理由) ・就学意欲の低下 3人 ・他の教育機関への入学・転学 3人 ・就職 2人			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ - ] 17	(累積)計 [ - ] 408	[ - ] % 4.2 %
	うち平成20年度入学者 4人	うち平成20年度 93人	
	うち平成21年度入学者 7人	うち平成21年度 128人	
	うち平成22年度入学者 6人	うち平成22年度 187人	
(主な退学理由) ・就学意欲の低下 7人 ・他の教育機関への入学・転学 2人 ・就職 3人 ・学生個人の心身に関する事情 2人 ・家庭の事情 3人			

- (注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度(前年度までの確定した入学者数)】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
  - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
    - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
    - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

2 授業科目の概要

<情報学部 情報システム学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目群 A・A+セミナー	情報システム入門セミナー A・A+セミナー	1前	1 ⊖			7 8 7	5 4 4	0 ± ±			初年次導入科目の設置に伴い平成21年度より科目内容・名称・区分・単位数変更(21) 担当 上田浩次(教授) 担当教員の変更と平成21年度誤記による准教授数の訂正(4名から3名)(22) 担当 不破勝彦(准教授) 担当 柘植 寛(准教授)
	総合科目I 総合科目II ドイツ語入門I ドイツ語入門II 現代物理学I 現代物理学II	1前 1後 1前 1後 2前 2後			2 2 1 1 2 2						廃止科目(21) 廃止科目(21)
人間科学科目群 Aグループ(言語・体育実技分野)	ファーストイヤーセミナー 言語表現法演習	1前 1後	2			0 7	0 4	0 ±			初年次教育科目設置に伴い、平成21年度より科目内容・名称・配当年次・担当教員変更(21) 兼担(教養系)教員が担当
	基礎文法I 基礎英語I	1前	1								全学共通科目である「基礎英語」「総合英語」の授業内容の見直しに伴い、内容に即した科目名に平成21年度より変更(21)
	基礎文法II 基礎英語II	1後	1								全学共通科目である「基礎英語」「総合英語」の授業内容の見直しに伴い、内容に即した科目名に平成21年度より変更(21)
	基礎リーディングI 総合英語I	1前	1								全学共通科目である「基礎英語」「総合英語」の授業内容の見直しに伴い、内容に即した科目名に平成21年度より変更(21)
	基礎リーディングII 総合英語II	1後	1								全学共通科目である「基礎英語」「総合英語」の授業内容の見直しに伴い、内容に即した科目名に平成21年度より変更(21)
	多元英語I 多元英語II 実用英語I 実用英語II 健康科学演習I 健康科学演習II	2前 2後 3前 3後 1前 1後	1 1	1 1							
Bグループ(人文社会分野)	国文学I 国文学II 外国文学I 外国文学II 心理学I 心理学II 認知科学I 認知科学II <del>応用心理学I</del> <del>応用心理学II</del>	2・3 2・3 1・2・3 1・2・3 1・2・3 1・2・3 2・3 2・3 2・3 2・3	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								廃止科目(23) 廃止科目(23)
	哲学I 哲学II 社会学I 社会学II 経済学I 経済学II 法学I 法学II 政治学I 政治学II 健康科学I 健康科学II 歴史学I 歴史学II 環境を科学するI 環境を科学するII 教育原理 教育社会学 教育心理学 教職総合演習	1・2・3 1・2・3 2・3 2・3 1・2・3 1・2・3 2・3 2・3 1・2・3 1・2・3 1・2・3 1・2・3 1・2・3前 1・2・3後 1・2・3前 1・2・3後 1 1 2 3	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								人文社会分野の授業科目を充実するため平成21年度より全学共通科目として追加(21) 人文社会分野の授業科目を充実するため平成21年度より全学共通科目として追加(21) 人文社会分野の授業科目を充実するため平成21年度より全学共通科目として追加(21) 人文社会分野の授業科目を充実するため平成21年度より全学共通科目として追加(21)



専門基礎科目群	情報概論	1前	2			1 0 +	0 +			教授1名と准教授1名を予定していたが、准教授1名で担当可能となったため教員数を変更(21) 担当教員の変更(23) (准教授から教授)	
	情報処理基礎	1前	2			0 2 +	2 0 +	0 +		准教授2名と講師1名を予定していたが、准教授1名の辞任に伴い、他の科目も考慮し、担当できる教授2名と講師1名に変更(21) 担当 上田浩次(教授) 担当 岩間尚文(教授) クラス数見直しに伴い教授1名減、教員の昇格と担当教員の変更(教授から准教授)(22) 対象者 早川謙二(准教授) 担当 不破勝彦(准教授)	
	コンピュータハードウェア基礎	1後	2			1 0 +	1 0 +	0 +		講師1名で担当可能となったため教員数を変更(21) 教員の昇格と教育充実の理由により専任教員を追加(22) 対象者 早川謙二(准教授) 担当 上田浩次(教授)	
	プログラミング入門	1後		2		1					
	ネットワーク概論	1後		2			1			担当教員の変更(23) (兼任教員から准教授)	
	基礎電気回路	1前		2			3 2 +			教育充実の理由により専任教員を追加(21) 担当 愛知久史(准教授) 教育充実の理由により担当教員を追加(22) 担当 横手裕治(准教授) 担当教員の変更(23) (兼任教員から准教授)	
	C/G概論	1・2後		2							
	数学基礎			2							
	基礎数学同演習	1前		+						科目名を見直すとともに適切な単位数に変更(21)	
	解析学Ⅰ	1前		2							
	解析学Ⅱ	1後		2							
	解析学Ⅲ	2前		2							
	線形代数Ⅰ	1前		2							
	線形代数Ⅱ	1後		2							
	線形代数Ⅲ	2後		2							
	情報統計学	2前		2			1 +	0 +			担当教員を変更(21) (准教授から兼任教員) 教育充実のため担当教員の変更(22) (兼任教員から教授と准教授) 担当 三品善昭(教授) 担当 柘植 覚(准教授) 担当教員の変更(23) (准教授から兼任教員)
	確率・統計	2前		2			+	1			担当教員の変更(22) (教授から准教授) 担当 不破勝彦(准教授)
	常微分方程式	3前		2							
	力学	1前		2							
	電磁気学	1後		2							
専門基礎科目群	基礎科目					2 +				教育充実の理由により専任教員を追加(22) 担当 大石弥幸(教授)	
	プログラミングⅠ	2前	2			2 +				教育充実の理由により専任教員を追加(22) 担当 大石弥幸(教授)	
	プログラミングⅡ	2後・3前		2		2 +				教育充実の理由により専任教員を追加(22) 担当 大石弥幸(教授)	
	プログラミングⅢ	3前		2		2 +				教育充実の理由により専任教員を追加(22) 担当 大石弥幸(教授)	
	コンピュータアーキテクチャⅠ	2前		2		1					
	コンピュータアーキテクチャⅡ	2後		2		1					
	オペレーティングシステム	2前		2		1					
	情報ネットワーク	2後		2		1 0		1 0		教育充実の理由により専任教員を追加(21) 担当 本田隆司(教授) 教育充実の理由により専任教員を追加(22) 担当 柘植覚(准教授)	
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	3前		2		1 2				担当教員の変更(22) (教授から兼任教員)	
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	3後		2		1 2				担当教員の変更(22) (教授から兼任教員)	
	情報理論	2後		2		0 +				担当教員の変更(23) (教授から兼任教員)	
	数値計算法	3後		2		1					
	オートマトン・言語理論	3前		2		1					
	電気回路Ⅰ	1後		2		1 0		1		教育充実の理由により専任教員を追加(21) 担当 愛知久史(准教授) 教育充実の理由により専任教員を追加(22) 担当 上田浩次(教授)	
	電気回路Ⅱ	2前		2			1				
	情報演習Ⅰ	2前	4			2					
	情報演習Ⅱ	2後	4			2					
	情報演習Ⅲ	3前	4			2 0		1		教育充実の理由により専任教員を追加(22) 担当 柘植 覚(准教授)	
	情報演習Ⅳ	3後	4			2 +	4 +	2 +	0 +	教育充実のため専任教員の追加と担当教員の変更(22) 担当 上田浩次(教授) 担当 佐藤秀樹(教授) 担当 朝倉宏一(准教授)	

専門科目群	展開科目	情報システム分析	2後		2		0				退職に伴い職名の変更(23) 対象者 鳥野壽章(准教授→兼任教員)	
		データベース	3後		2		1					
		ソフトウェア設計法	4前		2			1				担当教員の変更(23) (兼任教員から准教授)
		コンパイル構成法	4前		2		1					
		ネットワークプログラミング	3後		2		1	1				教育充実の理由により専任教員の追加(22) 担当 朝倉宏一(准教授)
		情報伝送	2後		2			1				教育充実の理由により専任教員の追加(22) 担当 不破勝彦(准教授)
		デジタル信号処理	3前		2		1					
		音声画像処理	3後		2		1					
		ソフトコンピューティング	4前		2			0				担当教員の変更(23) (教授から兼任教員)
		人工知能	4前		2							
		デジタル回路	3前		2			1				
		電子回路	3後		2			1				
		コンピュータセンシング	3後		2							
		コンピュータコントロール	4前		2							
		組込システムプログラミング	3後		2		1					
		リアルタイムシステム	4前		2		1					
		コンピュータ最新技術	4前		2		1					
		ネットワーク最新技術	4前		2			0	1			担当教員の変更(23) (教授から准教授)
		オブジェクト指向プログラミング	3後		2			2				教育充実の理由により専任教員の追加(22) 担当 大石弥幸(教授)
		インターネット工学	3前		2		1	0				教育充実の理由により専任教員の追加(22) 担当 栢植寛(准教授)
ネットワークシステム	3後		2		0	1				担当教員の変更(22) (教授から准教授)		
ネットワークコンテンツ	4前		2		1	0				担当 朝倉宏一(准教授)		
コンピュータシステム	4前		2									
コンピュータグラフィックス	3後		2									
マルチメディアソフトウェア	3前		2									
CAD	4前		2			1						
専門科目群	関連科目	ドキュメンテーション技法	4前		2							
		技術者倫理	4後		2		1					
		知的財産権論	4後		2							
		会計情報論	4後		2							
		実務研修(インターンシップ)	3後		2		1				担当教員の変更(23) (准教授から教授)	
卒業研究	卒業研究	세미나Ⅰ	4前	2			7	5	0		教員採用により専任教員を追加(21) 担当 上田浩次(教授) 教員の昇格と平成21年度誤記による准教授数の訂正(4名から3名)(22) 対象者 早川謙二(准教授) 担当教員の変更(23) (変更対象者:教授2名、准教授1名→教授1名、准教授2名)	
		세미나Ⅱ	4後	2			7	5	0		教員採用により専任教員を追加(21) 担当 上田浩次(教授) 教員の昇格と平成21年度誤記による准教授数の訂正(4名から3名)(22) 対象者 早川謙二(准教授) 担当教員の変更(23) (変更対象者:教授2名、准教授1名→教授1名、准教授2名)	
		卒業研究	4前後	6			7	5	0		教員採用により専任教員を追加(21) 担当 上田浩次(教授) 教員の昇格と平成21年度誤記による准教授数の訂正(4名から3名)(22) 対象者 早川謙二(准教授) 担当教員の変更(23) (変更対象者:教授2名、准教授1名→教授1名、准教授2名)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 21	科目 88	科目 6	科目 115	科目 21 [ 0 ]	科目 90 [ 2 ]	科目 4 [ Δ2 ]	科目 115 [ 0 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	総合科目Ⅰ	2	1前	一般	自由	この科目は全学共通科目として担当していたが、履修者がいないため、数年来、結果として非開講となっていた。全学的検討の結果、不要と判断されたため平成21年度入学生から廃止した。卒業に必要な単位には算入されない科目であることから、代替の措置は行わない。
2	総合科目Ⅱ	2	1後	一般	自由	
3	応用心理学Ⅰ	2	3前	一般	選択	この科目は内容が高度で専門分野に特化していることから、廃止をした。その代わりに広範囲で心理学を学ぶことができる既存科目「心理学Ⅰ・Ⅱ」の開講コマ数を増やした。
4	応用心理学Ⅱ	2	3後	一般	選択	

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>①「総合科目Ⅰ・Ⅱ」について</p> <p>【大学の所見】 卒業に必要な単位に算入されない「自由科目」であることから、学生には、不利益はないと考える。 また、全学共通科目であることから、やむを得ない措置と考える。</p> <p>【学生への周知方法】 履修ガイダンス時（4月・9月）に、学生便覧・時間割等を配布し、教職員から説明した。 例年、履修者がいなかったため、ガイダンスでの説明の際も特に意見がなく、学生の履修への影響はないと考える。</p> <p>②「応用心理学Ⅰ・Ⅱ」について</p> <p>【大学の所見】 心理学を学ぶ科目として「心理学Ⅰ・Ⅱ」が開設されていること、及び科目の廃止に伴い、当該科目群に新たに「環境を科学するⅠ・Ⅱ」および「歴史学Ⅰ・Ⅱ」を追加したことから学生には、不利益はないと考える。</p> <p>【学生への周知方法】 履修ガイダンス時（4月・9月）に、学生便覧・時間割等を配布し、教職員から説明した。 ガイダンスでの説明の際も特に意見がなく、学生の履修への影響はないと考える。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	4	=	0.03
届出時の計画の授業科目数の計	115		

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

＜情報学部 情報デザイン学科＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目群 Aセミナー	情報デザイン入門セミナー A・Aセミナー	1前	1	0	0	9 7 2	4 3 0	4 3 2	0 0 0	0 0 0	0 0 0	初年次導入科目の設置に伴い平成21年度より科目内容・名称・区分・単位数変更(21) 専任教員を追加 担当 大石弥幸(教授) 担当 川戸和英(教授) 担当 山内五郎(教授) 担当 高木基充(教授) 担当 小高直樹(教授) 担当 茂吉雅典(講師) 担当 岩木呂卓巳(講師) 教育充実のため専任教員の追加(22) 担当 光田 恵(教授) 担当 齋藤慎太郎(教授) 担当 杉本幸雄(准教授) 担当 浅井 淳(准教授) 担当 井藤隆志(准教授) 担当 渡部裕子(講師) 教育充実のため専任教員の追加(23) 担当 佐藤壮一郎(准教授) 担当 棚村壽三(講師)
	総合科目I 総合科目II ドイツ語入門 I ドイツ語入門II 現代物理学 I 現代物理学 II	4前 4後 1前 1後 2前 2後		0 0 1 1 2 2	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0						廃止科目(21) 廃止科目(21)
人間科学科目群 Aグループ(言語・体育実技分野)	ファーストイヤーセミナー 言語表現法演習	1前 4後	2			0 5	0 2	0 2				初年次教育科目設置に伴い、平成21年度より科目内容・名称・配当年次・担当教員変更(21) 兼任(教養系) 教員が担当
	基礎文法 I 基礎英語 I	1前	1									全学共通科目である「基礎英語」「総合英語」の授業内容の見直しに伴い、内容に即した科目名に平成21年度より変更(21)
	基礎文法 II 基礎英語 II	1後	1									全学共通科目である「基礎英語」「総合英語」の授業内容の見直しに伴い、内容に即した科目名に平成21年度より変更(21)
	基礎リーディング I 総合英語 I	1前	1									全学共通科目である「基礎英語」「総合英語」の授業内容の見直しに伴い、内容に即した科目名に平成21年度より変更(21)
	基礎リーディング II 総合英語 II	1後	1									全学共通科目である「基礎英語」「総合英語」の授業内容の見直しに伴い、内容に即した科目名に平成21年度より変更(21)
	多元英語 I 多元英語 II 実用英語 I 実用英語 II	2前 2後 3前 3後	1 1 1 1									
	健康科学演習 I	1前	1					1				兼任教員から専任教員に変更 対象者 佐藤壮一郎(23)
	健康科学演習 II	1後	1				1	1				教育充実のため専任教員の追加(22) 担当 齋藤慎太郎(教授) 担当教員の変更(23) (教授から准教授)
	国文学 I 国文学 II 外国文学 I 外国文学 II 心理学 I 心理学 II 認知科学 I 認知科学 II	2・3前 2・3後 1・2・3前 1・2・3後 1・2・3前 1・2・3後 2・3前 2・3後		2 2 2 2 2 2 2 2								
	応用心理学 I 応用心理学 II	2前 2後		2 2								廃止科目(23) 廃止科目(23)
哲学 I 哲学 II 社会学 I 社会学 II 経済学 I 経済学 II 法学 I 法学 II 政治学 I 政治学 II 健康科学 I 健康科学 II	1・2・3前 1・2・3後 2・3前 2・3後 1・2・3前 1・2・3後 2・3前 2・3後 1・2・3前 1・2・3後 1・2・3前 1・2・3後		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									
歴史学 I	1・2・3前		2								人文社会分野の授業科目を充実するため平成21年度より全学共通科目として追加(21)	
歴史学 II	1・2・3後		2								人文社会分野の授業科目を充実するため平成21年度より全学共通科目として追加(21)	
環境を科学する I	1・2・3前		2								人文社会分野の授業科目を充実するため平成21年度より全学共通科目として追加(21)	
環境を科学する II	1・2・3後		2								人文社会分野の授業科目を充実するため平成21年度より全学共通科目として追加(21)	
教育原理 教育社会学 教育心理学 教職総合演習	1前 1後 2前 3後		2 2 2 2									

専門基礎科目群	情報概論	1前	2		0	1	+	2		教育充実のため専任教員の追加と担当教員の変更(22) 担当 浅井 淳(准教授) 担当 渡部裕子(講師) 兼任講師から専任教員(講師)として採用(23) 担当 棚村壽三(講師)
	基礎造形表現 I 基礎造形表現	1前	2							造形分野の教育充実を図るため科目を新規に追加したことに伴い科目名称を変更(21)
	基礎造形表現 II	1後	2							造形分野の教育充実を図るため新規科目追加(21)
	基礎音楽論	1前	2		1	0	+			教員の昇格による変更(21) 対象者 小高直樹(教授)
	インターナショナルコミュニケーション メディアと社会	1前 1前	2 2		1 1					
	情報基礎	1前	2					0		担当教員の変更(21) (専任講師から兼任講師)
	基礎演習 I	1前	2		2	+	2			廃止科目(21)
	基礎情報数学	1前	2		0	+	2			教授1名の辞任による変更(21) 教育充実のため専任教員の追加と担当教員の変更(22) (教授から専任講師) 担当 定国伸吾(講師) 担当 竹村明久(講師)
	デザインと数学	1後	2					1	+	教育内容充実のため新規科目追加(21) 兼任講師から専任教員(講師)として採用(23) 担当 棚村壽三(講師)
	基礎演習 基礎演習 II	1後	2		1			1		「基礎演習 I」廃止に伴い 科目名称変更(21) 教育充実のため専任教員の追加(22) 担当 齊藤慎太郎(教授) 担当 定国伸吾(講師)
	基礎映像論	1後	2					0	+	担当教員の変更(22) (専任講師から兼任講師)
	音響情報学	1後	2		0	+				担当教員の変更(22) (教授から兼任講師)
	情報デザイン I	1後	2		2	+		1	2	教育充実のため専任教員を追加(21) 担当 高木基充(教授) 教育充実のため専任教員を追加(22) 担当 光田恵(教授) 担当 渡部裕子(講師) 担当 竹村明久(講師) 授業運営に支障がないため、担当者教員を変更(23)
	ドキュメンテーション I ネットワーク概論	1後 1後	2 2		1			0	+	教育充実のため担当教員の変更(22) (講師から教授) 担当 並木浩一(教授)
	情報統計学	1後	2			1		1		教育充実のため専任教員を追加(22) 担当 浅井淳(准教授) 担当 竹村明久(講師)
	デザイン概論	1前	2		1					兼任教員から専任教員(教授)として採用(21) 担当 三原昌平(教授)
	デッサン	1前	2		1					
	ベーシックデザイン実習 I	1前	1.5		1	0	+			担当教員を変更(21) 担当 三原昌平(教授)
	デザイン史	1前	2		1					兼任教員から専任教員(教授)として採用(21) 担当 三原昌平(教授)
	CAD基礎	1前	1.5			0	+			担当教員の変更(22) (准教授から兼任講師)
	図学 I	1前	2							
	基礎情報物理	1後	2		1	+				専任教員の辞任に伴い教員を変更 (教授から兼任講師)(21) 教育充実のため担当教員の変更(22) (兼任講師から教授) 担当 齊藤慎太郎(教授)
	プロダクトデザイン史	1後	2		1					兼任教員から専任教員(教授)として採用(21) 担当 三原昌平(教授)
	ベーシックデザイン実習 II	1後	1.5		0	+	1	+		担当教員を変更(21) 担当 三原昌平(教授) 担当教員の変更(22) (教授から准教授) 担当 井藤隆志(准教授)
	形態論	2前 1前	2		1	+				初年次教育科目を1年次前期に配当したことに伴い、配当年次を変更(21) 教育充実のため専任教員を追加(23) 担当 齊藤慎太郎(教授)
	グラフィカシ	1後	2		1					教育充実により専任教員を追加(21) 担当 横山弥生(教授)
	2D CAD	1後	1.5			1	+			担当教員を変更(21) (准教授から兼任講師)
	図学 II	1後	2							教育充実のため担当教員の変更(22) (兼任講師から准教授) 担当 井藤隆志(准教授)



専 門 科 目 群	基 幹 科 目				0 +	0 +					
	コンピュータサウンドⅡ	3後	2		+	+					教員の昇格による変更(21) 対象者 小高直樹(教授)
	デザインベース	3後	2								担当教員の変更(22) (教授から兼任講師)
											廃止科目(22)
	情報演習Ⅳ	3後	4	2		1 +	2 +				教育充実のため専任教員の追加と担当 教員の変更(22)
	プレゼンテーション技法	2前	2								担当 杉本幸雄(准教授) 担当 渡部裕子(講師) 担当 定国伸吾(講師)
	文章技法	1後	2		1 +	0 +					教育充実のため担当教員の変更(22) (講師から教授)
	プロダクトデザイン論	2前	2		2 +						担当 並木浩一(教授)
	生活デザイン論	2前	2			0 +					兼任教員から専任教員(教授)として 採用(21)
	ベーシックデザイン実習Ⅲ	2前	1.5		1 +	0 +					担当 三原昌平(教授)
	デザインと発想	1後 2後	2		1 +	0 +					担当教員の変更(22) (准教授から兼任講師)
											担当教員の変更(21)
	CG実習	2前	1.5		1 +	0 +					担当 三原昌平(教授) 担当 横井健二(教授)
	3DCAD	2前	1.5								初年次教育科目を1年次前期に配当し たことに伴い、配当年次を変更(21) 担当者の変更
	材料と加工実習	2前	1.5			0 +					担当 井藤隆志(准教授)
	材料と加工法Ⅰ	2前	2								教育充実のため担当教員の変更 (22) (准教授から教授)
	力と形	2前	2								担当 横井健二(教授)
	インテリアデザイン	2後	2								
	ユニバーサルデザイン	2後	2		0 +						担当教員の変更(22) (兼任講師から教授)
	視覚情報デザイン	2後	2								担当 横山弥生(教授)
	材料と加工法	2後	2		1						授業運営に支障がないため、担当者教 員を変更(23)
	材料と加工法Ⅱ	2後	2								科目名称の変更(22)
	家具デザイン論	3前	2			1					担当教員の変更(23) (教授から兼任講師)
	デジタルプレゼンテーションⅠ	3前	2								担当教員の変更(23) (兼任講師から教授)
	環境とエコデザイン	3前	2								担当 横井健二(教授)
	情報デザイン	3前	2		0 +						教育充実により担当教員の変更(22)
	人間工学	3前	2		1						(兼任講師から教授)
	ヒューマンインターフェース	3後	2		1						担当 横井健二(教授)
	デザインプランニング	3後	2								教育充実により担当教員の変更(22)
	デジタルプレゼンテーションⅡ	3後	2								(兼任講師から教授)
	マーケティング論	3後	2		1						担当 横井健二(教授)
	ユーザーインターフェース	3後	2		0 +						担当教員の変更(22) (教授から兼任講師)



専門 科目 目 録	展開科目	メディアコミュニケーション論	2後	2							教育充実のため専任教員を追加(23) 担当 齋藤慎太郎(教授)
		情報社会貢献論	2後	2		±					教育充実により担当教員の変更(22) (専任講師から准教授) 担当 杉本幸雄(准教授)
		シナリオライティング	4前	2			1		±		
		CAD	3前	2							
		CプログラミングⅡ	2後	2		0					担当の変更(21)
		プログラミングⅢ	3前	2		0			±		担当教員の変更(22) (教授から兼任講師)
		情報デザインⅢ	3前	2		1				±	教育充実により担当教員の変更(22) (専任講師から教授) 担当 高木基充(教授)
		ドキュメンテーションⅡ	3前	2							
		情報技術概論	3前	2		0			±		担当教員の変更(22) (教授から兼任講師)
		ユーザインターフェイスデザイン	3後	2							
		映像メディア表現Ⅲ	3後	2				0	±		担当教員の変更(22) (専任講師から兼任講師)
		メディアワークプロジェクトⅡ	3後	2			1			1	担当教員の変更(23) (兼任講師から准教授)
		広報論	3後	2		1					
		メディアデザイン特別講義	3後	2		1					科目名称の変更(23)
		<del>メディアコミュニケーション特別講義</del>	3後	2		±					
		アルゴリズムとデータ構造	3後	2			1				教育充実により担当教員の変更(22) (兼任講師から准教授) 担当 浅井淳(准教授)
		ネットワークプログラミング	3後	2					1		教育充実により担当教員の変更(22) (兼任講師から専任講師) 担当 定国伸吾(講師)
		メディアプロデュース論	4前	2		1					
		コンピュータグラフィックス	4前	2							
		コンピュータサウンドⅢ	4前	2		0		0		±	教員の昇格による変更(21) 対象者 小高直樹(教授) 担当教員の変更(23) (教授から兼任講師)
		情報演習Ⅴ	4前	2							
		グローバルビジネス	4前	2							
		情報科学技術評価論	4前	2		1					
		情報演習Ⅵ	4後	2				0		±	教育充実により担当教員の変更(22) (兼任講師から専任講師) 担当 定国伸吾(講師) 担当教員の変更(23) (講師から兼任講師)
		研究デザイン実習Ⅰ	2後	1.5		1					兼任教員から専任教員(教授)として採用(21) 担当 三原昌平(教授)
		CAD製図応用Ⅰ	2後	1.5				1			教育充実により専任教員を追加(21) 担当 井藤隆志(准教授)
	CGプログラミング	2後	2		1						
	研究デザイン実習Ⅱ	3前	1.5		1					兼任教員から専任教員(教授)として採用(21) 担当 三原昌平(教授)	
	CAD製図応用Ⅱ	3前	1.5				1			教育充実により担当教員の変更(22) (兼任講師から准教授) 担当 井藤隆志(准教授) 担当教員の変更(23) (教授から兼任講師)	
	数理造形	3前	2		0				±		
	研究デザイン実習Ⅲ	3後	1.5		1					兼任教員から専任教員(教授)として採用(21) 担当 三原昌平(教授)	
	CAD製図応用Ⅲ	3後	1.5							担当教員の変更(23) (兼任講師から教授)	
	生産管理	4前	2		1				±	担当教員の変更(22) 担当者未定 担当 横井健二(教授)	
	意匠法規と意匠登録	4前	2		1				±	担当教員の変更(22) 担当者未定 担当 横井健二(教授)	
	生活環境評価演習Ⅰ	2後	2		1					教育充実を図るため新規科目追加(23)	

専 門 科 目 群	卒業研究					2 3 2	1			教育充実により専任教員の追加(22) 担当 横井健二(教授) 履修希望者がいないため1名減 (23) 対象者 三原昌平(教授)
	プレ 세미나	3後		2						
	セミナー I	4前	2			6 7 6	3 +	2		教員の採用による追加及び昇格による 変更(21) 平成21年度談記による教授数の訂正(7 名から6名)(22) 教育充実により専任教員の追加(23) 担当 浅井淳(准教授) 担当 杉本幸雄(准教授)
	セミナー II	4後	2			6 7 6	3 +	2		教員の採用による追加及び昇格による 変更(21) 平成21年度談記による教授数の訂正(7 名から6名)(22) 教育充実により専任教員の追加(23) 担当 浅井淳(准教授) 担当 杉本幸雄(准教授)
	卒業研究	4前・後	6			6 7 6	3 +	2		教員の採用による追加及び昇格による 変更(21) 平成21年度談記による教授数の訂正(7 名から6名)(22) 教育充実により専任教員の追加(23) 担当 浅井淳(准教授) 担当 杉本幸雄(准教授)

- (注)
- ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 12	科目 144	科目 6	科目 162	科目 13 [ 1 ]	科目 153 [ 9 ]	科目 4 [ Δ2 ]	科目 170 [ 8 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	総合科目Ⅰ	2	1前	一般	自由	この科目は全学共通科目として配当していたが、履修者がいないため、数年来、結果として非開講となっていた。全学的検討の結果、不要と判断されたため平成21年度入学生から廃止した。卒業に必要な単位には算入されない科目であることから、代替の措置は行わない。
2	総合科目Ⅱ	2	1後	一般	自由	
3	基礎演習Ⅰ	2	1前	専門	選択	初年次導入科目の設置に伴い、同系の「A・Aセミナー」と「基礎演習Ⅰ」を見直し、平成21年度より内容等を統合した。
4	データベース	2	3後	専門	選択	教育内容を検討した結果、カリキュラム全体として重要度の低い科目であり、同一の科目が情報システム学科でも開講され、履修することができるため、廃止することにした。
5	応用心理学Ⅰ	2	3前	一般	選択	この科目は内容が高度で専門分野に特化していることから、廃止をした。その代わりに広範囲で心理学を学ぶことができる既存科目「心理学Ⅰ・Ⅱ」の開講コマ数を増やした。
6	応用心理学Ⅱ	2	3後	一般	選択	
7	コンピュータシステム	2	4前	専門	選択	教育内容を検討した結果、カリキュラム全体として重要度の低い科目であり、同一の科目が情報システム学科でも開講され、履修することができるため、廃止することにした。

(注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>①「総合科目Ⅰ・Ⅱ」について</p> <p>【大学の所見】 卒業に必要な単位に算入されない「自由科目」であることから、学生には、不利益はないと考える。 また、全学共通科目であることから、やむを得ない措置と考える。</p> <p>【学生への周知方法】 履修ガイダンス時（4月・9月）に、学生便覧・時間割等を配布し、教職員から説明した。 例年、履修者がいなかったため、ガイダンスでの説明の際も特に意見がなく、学生の履修への影響はないと考える。</p> <p>②「基礎演習Ⅰ」について</p> <p>【大学の所見】 全学共通科目として配当された「初年次導入科目」に伴い科目を見直したものであり、また、教育内容面では、学生に不利益のないよう配慮した。</p> <p>【学生への周知方法】 履修ガイダンス時（4月・9月）に、学生便覧・時間割等を配布し、教職員から説明した。 ガイダンスでの説明の際も特に意見がなく、学生の履修への影響はないと考える。</p> <p>③「データベース」について</p> <p>【大学の所見】 カリキュラム全体として重要度が低く、情報システム学科においても、同一の科目が開講されており、他学科で履修することができ、代替もあることから、廃止しても学生へ不利益は生じないと考えられる。</p> <p>【学生への周知方法】 履修ガイダンス時（4月・9月）に、学生便覧・時間割等を配布し、教職員から説明した。 ガイダンスでの説明の際も特に意見がなく、学生の履修への影響はないと考える。</p> <p>④「応用心理学Ⅰ・Ⅱ」について</p> <p>【大学の所見】 心理学を学ぶ科目として「心理学Ⅰ・Ⅱ」が開講されていること及び、科目の廃止に伴い、当該科目群に新たに「環境を科学するⅠ・Ⅱ」および「歴史学Ⅰ・Ⅱ」を追加したことから学生には、不利益はないと考える。</p> <p>【学生への周知方法】 履修ガイダンス時（4月・9月）に、学生便覧・時間割等を配布し、教職員から説明した。 ガイダンスでの説明の際も特に意見がなく、学生の履修への影響はないと考える。</p> <p>⑤「コンピュータシステム」について</p> <p>【大学の所見】 カリキュラム全体として重要度が低く、情報システム学科においても、同一の科目が開講されており、他学科で履修することができ、代替もあることから、廃止しても学生へ不利益は生じないと考えられる。</p> <p>【学生への周知方法】 履修ガイダンス時（4月・9月）に、学生便覧・時間割等を配布し、教職員から説明した。 ガイダンスでの説明の際も特に意見がなく、学生の履修への影響はないと考える。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	7	=	0.04
届出時の計画の授業科目数の計	162		

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大同大学大同高等学校 と共用 収容定員1,440人 基準面積:7,200㎡  測量値に修正 (23)			
	校舎敷地	51,479.70 ㎡	— ㎡	— ㎡	51,479.70 ㎡				
	運動場用地	51,047.38 <del>51,047.97</del> ㎡	16,061.85 ㎡	6,628.53 ㎡	73,737.76 <del>73,738.35</del> ㎡				
	小 計	102,527.08 <del>102,527.67</del> ㎡	16,061.85 ㎡	6,628.53 ㎡	125,217.46 <del>125,218.05</del> ㎡				
	そ の 他	— ㎡	— ㎡	— ㎡	— ㎡				
	合 計	102,527.08 <del>102,527.67</del> ㎡	16,061.85 ㎡	6,628.53 ㎡	125,217.46 <del>125,218.05</del> ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	誤記の修正 (22)				
	56,798.49 ㎡ 56,798.44 ㎡ ( 56,798.49 ㎡ ) ( 56,798.44 ㎡ )	— ㎡  ( — ㎡ )	— ㎡  ( — ㎡ )	56,798.49 ㎡ 56,798.44 ㎡ ( 56,798.49 ㎡ ) ( 56,798.44 ㎡ )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	少人数教育を行い、指 導効果を高めるため (22) 情報教育充実に向け情報 処理学習施設を整備 (23)			
	46 室	7 室	35 <del>37</del> 31 室	16 <del>14</del> 室 (補助職員 人)	— 室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成21年3月専任教授 2名採用、1名退職の ため (21)  准教授1名の所属変更 講師1名採用、誤記 修正 (23)			
	情報学部 情報システム学科		12 室						
	情報学部 情報デザイン学科		17 10 9 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での 共用分  図書〔うち外国書〕 211,617〔55,840〕 (23) 206,118〔53,528〕	
	情報システム学科	13,355〔1,660〕 (13,295〔1,607〕) (12,972〔1,598〕) (12,719〔1,584〕)	225〔100〕  (225〔100〕)	0〔0〕  (0〔0〕)	0  (0)	185  (185)	0  (0)		
	情報デザイン学科	6,200〔592〕 (6,833〔626〕) (6,322〔597〕) (5,913〔564〕)	152〔63〕  (152〔63〕)	0〔0〕  (0〔0〕)	12 <del>0</del> (12) ( <del>0</del> )	142  (142)	0  (0)		
	計	19,555〔2,252〕 (20,128〔2,233〕) (19,304〔2,195〕) (18,632〔2,145〕)	377〔163〕  (377〔163〕)	0〔0〕  (0〔0〕)	12 <del>0</del> (12) ( <del>0</del> )	327  (327)	0  (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					大学全体	
	3,589.94㎡	392席	245,550冊						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	3,387.77㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体  大学全体の教員数の増加 及び設備購入費を研究費 に振替えたため (21)
		教員1人当り研究費等	698千円 524千円	456千円 524千円	図書購入費	19,876千円	24,094千円 19,876千円	16,046千円 19,876千円	
		共同研究費等	33,210千円 43,196千円	38,307千円 43,196千円	設備購入費	41,458千円	20,891千円 41,299千円	40,551千円 41,299千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,500千円	1,230千円	1,260千円	1,290千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金 等						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	大同大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
<b>工学部</b>									
機械工学科	4	100	—	400	学士 (工学)	1.24	昭和39年度	名古屋市南区滝春 町10番地3	
総合機械工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.28	平成22年度	名古屋市南区滝春 町10番地3	
ロボティクス学科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成22年度より 学生募集停止
情報機械システム工学科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成18年度より 学生募集停止
電気電子工学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.21	昭和39年度	名古屋市南区滝春 町10番地3	
建築学科	4	100	—	400	学士 (工学)	1.20	昭和50年度	名古屋市南区白水 町40番地	
都市環境デザイン学科	4	75	—	300	学士 (工学)	0.62	平成13年度	名古屋市南区白水 町40番地	
<b>情報学部</b>									
情報学科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成20年度より 学生募集停止

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	<該当なし>		
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	工学部総合機械工学科の入学定員超過の是正に努めること。	工学部総合機械工学科の入学定員超過を是正するべく、合格者の決定をより慎重に行うなどの努力を行い、次のとおり改善した。  平成22年度 1.36 平成23年度 1.21	
	工学部都市環境デザイン学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること。	工学部都市環境デザイン学科の学生確保について、教育面や卒業後の進路実績等、同学科の魅力伝えるPR活動を鋭意展開した結果、平成23年度の入学生は57名(0.76倍)と改善した。同時に、定員を含む同学科の在り方についても、学内の検討チーム及び理事会等で慎重な検討を重ね、平成24年度に同学科を募集停止し(平成23年度に届出予定)、同学科の定員を工学部建築学科及び情報学部総合情報学科(平成23年4月届出済)に振り替えることとした。	

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

<情報学部 情報システム学科 及び 情報デザイン学科>

### (1) 設置計画変更事項等

<該当なし>

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 2001/4/1 ※関係規程等を転載又は添付すること 「大同大学授業開発センター運営委員会規程」を添付する。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 定例3回（2、8、11月）、メール委員会（随時） 委員：授業開発センター長、授業開発センター副センター長（2名）、 センター所員（10名）、教務室長</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 授業改善のための授業研究活動等に関すること (2) 研究授業、授業研究会の実施とその運用に関すること (3) 「学生による授業評価アンケート」の実施とその活用に関すること (4) 「学生による学習到達度評価アンケート」の実施とその活用に関すること (5) 授業開発助成、授業開発成果推進助成の実施とその運用に関すること (6) 新任教員の授業運営に関する研修会・懇談会の実施に関すること</p> <p>② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <p>(1) 教員相互の授業参観及び授業内容・方法に関する研究会 (2) 授業評価アンケート (3) 学習到達度評価アンケート (4) 授業開発助成、授業開発成果推進助成 (5) 学内FDシンポジウム (6) 新任教員の授業運営に関する研修会・懇談会の実施</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

b 実施方法

- ・教員相互の授業参観及び授業内容・方法に関する研究会  
前期7回、後期7回、合計14回程度の開催を予定する。
- ・授業評価アンケート  
全授業科目を対象に授業評価アンケートを毎期実施している。
- ・学習到達度評価アンケート  
全授業科目を対象に学習到達度評価アンケートを毎期実施している。
- ・授業開発助成、授業開発成果推進助成  
授業に共通する課題に取り組む教員の授業開発計画を経費面から支援する助成制度。
- ・学内FDシンポジウム  
授業に共通する課題を設定し、発表者の問題提起を基に議論する。
- ・教務部、学習支援センターと連携しながら、年度初めに実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教員相互の授業参観及び授業内容・方法に関する研究会  
2011年の授業開発センター発足以来、11年に亘り継続して実施している。毎回の参加者は10名程度。
- ・授業評価アンケート  
2011年の授業開発センター発足以来、11年に亘り継続して実施している。
- ・学習到達度評価アンケート  
2011年の授業開発センター発足以来、11年に亘り継続して実施している。
- ・授業開発助成、授業開発成果推進助成  
2003年度授業開発助成、2005年度授業開発成果推進助成を開始
- ・学内FDシンポジウム  
2011年3月に第3回シンポジウムを開催。参加者30名程度。  
・2010年度より開始した。新任教員に対し教育担当部署役職者が研修を行う。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・教員相互の授業参観及び授業内容・方法に関する研究会  
授業参観及び研究会、そのものが教員相互の教育力向上の研修として機能している。
- ・授業評価アンケート  
アンケート結果を教員個人、学科・教室、授業開発センターの3者で個別に分析を行い、情報を共有し授業改善に取り組んでいる。
- ・学習到達度評価アンケート  
アンケート結果を教員個人、学科・教室、授業開発センターの3者で個別に分析を行い、情報を共有し授業改善に取り組んでいる。
- ・授業開発助成、授業開発成果推進助成  
授業開発助成、授業開発成果推進助成で実施した取り組みについて、報告書を学内Web上に公開するとともに、報告会で発表し成果の共有を図っている。
- ・学内FDシンポジウム  
シンポジウムで議論された内容は、教員が共通の課題と認識している事柄であり、多くの示唆にとむものであった。今後も継続して開催する予定である。  
・新任教員にとって、授業運営の指針となっている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成20年4月18日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

平成19年度に財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、平成20年3月19日付で、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。  
なお、次回は平成25年度の受審を計画している。

(注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表予定時期 ( 平成23年 6月30日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.daido-it.ac.jp/hogo/gakumu.html> )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)  
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。